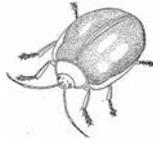


たんぽう



小野市でキマダラコヤガを確認

柴田 剛

キマダラコヤガ *Acontia trabealis* (Scopoli, 1763) は、北海道から九州にかけて広く分布するが局地的な種とされている。兵庫県では2003年においては未記録(高島, 2003)とされ、その後の確認情報は見つけることができなかった。幼虫の食草はヨーロッパではセイヨウヒルガオが知られているが、本邦における食草は未知である。

筆者は本種を2018年に小野市で撮影しており、このたび更に同市の別の場所で撮影・採集することができたので報告する。

【確認情報】

1 写真撮影：小野市下大部町(加古川の河川敷)(図)

撮影年月日：2018年8月11日

2 採集・写真撮影：小野市黍田町(加古川の河川敷)

採集・撮影年月日：2020年7月23日



図 兵庫県小野市下大部町, 2018年8月11日

○引用文献

高島昭, 2003. 兵庫県のコヤガ亜科. きべりはむし 31(1): 81-95

(Takeshi SHIBATA 兵庫県明石市)

2010年および2016年の西宮市および宝塚市におけるクロマダラソテツジミの記録

宇野宏樹

クロマダラソテツジミ *Chilades pandava* は2007年に降関西圏で発生が確認されている南方系のシジミチョウである。兵庫県において、本種は2007年に川西市・伊丹市・宝塚市で記録されたのをはじめとして、その後は2008年に西宮市・宝塚市・明石市・川西市・伊丹市・三田市・芦屋市・神戸市・加古川市・姫路市・たつの市・相生市・赤穂市・淡路市で、2016年に神戸市・伊丹市で、2018年に神戸市・姫路市・西宮市・芦屋市で、2019年に神戸市・姫路市・芦屋市でそれぞれ記録されている(森地, 2009; 三木, 2009; 浅田, 2017; 脇村, 2017; 広畑, 2018; 永原, 2019; 広畑, 2019; 浅田, 2019; 神吉, 2020)。

筆者は公式には空白期となっている2010年に宝塚市、西宮市で本種を採集しているのが自然史の資料として報告しておきたい(もっとも、インターネット上のブログでは2010年9月26日に神戸市中央区兵庫県公館で本種を撮影したという情報を見ることができる)。また、2016年において、本年に記録のない西宮市における本種の標本を所持しているため、あわせて報告する。

1♂(図1), 兵庫県西宮市相生町オアシスロード. 14.X.2010.

1♀(図2), 兵庫県宝塚市逆瀬台一丁目. 24.X.2010.

2♂, 兵庫県西宮市門戸東町. 16.X.2016

上記の記録について、標本はすべて筆者が採集・保管している。なお、正確な日時は記録できていないのだが、2019年秋には西宮市門戸岡田町にある民家のソテツ付近において、2020年には神戸市北区山田町上谷上で、それぞれ本種を確認していることを付け加えておきたい。末筆ながら、文献の入手に協力くださった甲陽学院高等学校生物部顧問の谷本雅昭先生に厚くお礼申し上げる。

○参考文献

浅田 卓, 2017. 神戸市・相楽園で発生したクロマダラソテツジミ, きべりはむし, 39(2): 69-70.

浅田 卓, 2019. 神戸市・相楽園のクロマダラソテツジミ 2018-2019. きべりはむし, 42(2): 12-14.

神吉正雄・神吉弘視, 2020. 芦屋市の昆虫調査報告 I - 芦屋市のチョウについて -. きべりはむし, 43(1): 9-17.

永原壮規, 2019. 甲陽学院高校およびその周辺で見られる昆虫. 生物甲陽 2019, 1-4.

広畑政巳, 2018. 兵庫県姫路市でクロマダラソテツジミを撮影. きべりはむし, 41(1): 25.